

No. 1

NGO Bokk Jambaar ニュースレター

BAOBAB

イクスプレス



2014年3月末日発行

2013年6月、NGO “Bokk Jambaar”を設立してから9カ月が経ちました。結成当初は、セネガルから遠く離れた日本で何が出来るのか不安もありましたが、これまでのボランティア生活の中で築いてきたセネガルの人々との関係を活用し、まずは物資の提供を中心とした活動から始めました。それに必要な資金は会費のほか、イベントでの物品・セネガル料理の販売、出張講義等で得た事業収益、そして皆さまから頂いた寄附などから使わせていただいております。また団体の活動を通して、いろいろな分野で活躍されている方々や NPO/NGO の皆さまと出会い、私たちの活動に多大なご協力と、激励のお言葉や助言をいただき、Bokk Jambaar は大勢の方に支えられ今に至っているのだ、ということを改めて感じているところです。この場をお借りして心から感謝の気持ちを述べたいと思います。ありがとうございます。

ところで、私たちがこよなく愛するセネガルの人々はどんな人たちかと言いますと・・・ひとなつつこく人情味があり、喜怒哀楽もめいいっぱい表現し、困難なことがあっても常にプラス思考。時に楽観主義と表現され、だからセネガルは成長しないと言われることもありますが、少々のことではメゲない強さがあると捉えることもできます。

社会を変えるのは簡単なことではありません。しかし、何も行動しなければ変化はゼロ。Bokk Jambaar は、皆が生きやすい元気な社会をつくりたいと考えていますが、これまでの出会い・これからの出会いを大切にし、どんなことがあってもメゲることなく前を向いて歩んでいきたいと思えます。

Bokk Jambaar (ボック・ジャンバール＝“頑張る仲間”の意)は、セネガル人と日本人との交流を通じて、一人一人の持つ可能性を育み、セネガルと日本の希望ある未来と元気な社会づくりを目指しています。

2013 年度活動報告

【日本での活動】

2013.9.4～9.24 セネガル写真展 GOGO☆Senegal

～見て知ってびっくりセネガル 第1弾～

[会場] JICA 関西

2013.10.3 大阪 OBOG 会の定例会にてリレートークのゲスト講師として参加

[会場] 近畿 JOCA

2013.10.3 - 10.16 セネガル写真展 GOGO☆Senegal

～見て知ってびっくりセネガル 第2弾～

[会場] 京都府国際センター

2013.10.13 神戸グローバルチャリティーフェスティバル

[会場] 神戸三宮 聖ミカエル国際学校

30年以上続いている神戸在住外国人と日本人による国際チャリティーイベントに参加させていただきました。ヤッサ・プレ(セネガル料理)、ファタヤ(セネガルの揚げギョウザ)やビスアップ(ハイビスカス)ジュース、そしてセネガル雑貨を販売しました。セネガル料理は、すべて完売しました！ありがとうございます。



2013.10.19 もっと知ろう！アフリカ

[会場] JICA 関西

大阪 OBOG 会主催のアフリカイベントへ参加させていただきました。そこでは、セネガルを紹介するとともに、セネガルのビスアップ(ハイビスカス)ジュース販売しました。また、セネガルで集中豪雨による浸水被害を受けた人々を支援するために募金箱を設置しました。寄付はおかげさまで 5626 円を集めることが出来ました。ご協力して下さった方々、心より感謝いたします。

2014.11.14 兵庫県 OV 会の定例会にてゲスト講師

[会場] JICA 関西

2013.11.16 健康フェア

[会場] 京都伏見青少年活動センター



NPO 法人チャーム様が主催されている、日本に住む外国籍住民や若者を対象に健康について考える機会を持ってもらうことを目的としたイベントに参加させていただきました。私たちは、セネガルの子どもの健康問題として、タリベ(物乞いの子どもたち)のことを取り上げ紹介しました。不衛生な環境、栄養不足、マラリア

など時に命に危険が及ぶような状況の中で暮らす子どもたちの「安全」で「安心」して暮らせる環境を確保するため、私たちは活動を続けています。

2014.2.1 - 2 大阪ワン・ワールド・フェスティバル

[会場]大阪国際交流センター

セネガルの写真を紹介するとともに、フェアトレード商品をはじめとするネガル物品販売(布ポーチ、うちわ、かご、布かばん、キーホルダー、お守りなど)、絵はがき、Bokk Jambaar オリジナルエコバッグを販売しました。また、JICA 青年海外協力隊 OB OG 会さまのブースにて熱々のセネガルの揚げ餃子、ファティヤを販売し完売いたしました。多くの方々にお立ち寄りいただき、ありがとうございました！



2014.2.15 暮らしの中にあるイロイロな国際協力のカタチ

[会場] JICA 関西



日常でできる国際協力の提案を国際協力に興味のある市民の方々に行うセミナーにて講演をしました。様々な業種から14団体が参加され、発表の前後は、ブースにて、市民の皆様との交流の場が設けられました。私たちは、ブースにて団体紹介とセネガル物品販売(布ポーチ、かご、布かばん、キーホルダー

)を行いました。私たちも、多角的な視点からの「日常でできる国際協力」を知ることができました。普段団体の仲間と活動していると、一方的な考えに偏りがちなのですが、こういった機会に様々な情報を集めるようにしています。

2014.3.9 好奇心くすぐる世界へようこそ！アフリカ・ウィーク

[会場] 香川県国際交流協会

Bokk Jambaar 初関西脱出イベントでした！香川で行われたアフリカイベントへ参加させていただきました。団体紹介ブース、フェアトレード商品をはじめとするセネガル物品販売(布ポーチ、うちわ、かご、布かばん、キーホルダー、お守りなど)、絵はがき、Bokk Jambaar オリジナルエコバッグ、ファタヤ(セネガルでよく食べられている揚げギョウザのようなもの)やビサップ(ハイビスカス)ジュースを販売しました。ファタヤは、好評で完売しました。香川県民だけではなく他県からお越しの方もあり、ダンスや太鼓の演奏、映画上映など大変盛況でした。



2014.3.15 KOBE 国際交流フェア 2014

[会場] ハーバーランドセンタービル スペースシアター



フェアトレード商品をはじめとするセネガル物品販売(布ポーチ、ネクタイ、かご、布かばん、キーホルダー、お守り、うちわ、ペンケースなど)、絵はがき、Bokk Jambaar オリジナルエコバッグ、体に良いビタミンたっぷりのセネガルビサップ(ハイビスカス)、栄養素たっぷりのブイ(バオバブの実)ジュースの販売を行いました。午後からは関西で活躍する西アフリカの音楽やダンスを伝えているバチコンドーさんに協力していただき、ジャンベを使ったパフォーマンスを行いました。会場に西アフリカの太鼓の音が響き渡り、大変盛り上がりました。ありがとうございました。

2014.3.12 - 26 関西フランコフォニーフェスティバル 2014 IN KOBE

[会場] 兵庫県国際交流協会 ひょうご国際プラザ

関西フランコフォニー協会様のイベントの一環として、HAT 神戸にある兵庫県国際交流協会様の展示室にて写真展を行いました。アフリカのフランコフォン(フランス語圏の国)セネガルの魅力をたっぷりご紹介しました。写真 100 枚以上とセネガルの学校の様子とセネガル人の音楽を DVD でも上映しました。

* 来年も、Bokk Jambaar はジャンバリ(頑張り)ますので、応援をどうぞよろしくお願いします！

(土久岡)

【セネガルでの活動】

Bokk Jambaar のセネガルでの活動は、地域のセネガル人の若者たちと協力しながら行ってきました。まず彼らのニーズを聴取し、必要と判断した取り組みについて資金を送り、それを元に彼らが活動を行うというものです。

1) ゴミリサイクルシステム構築プロジェクト



30代の若者を中心に結成された団体「RFAGEL(レファジェル)」は、セネガルで最もゴミの多い街と言われるカオラックで、その問題を解決するべく、ゴミ回収とリサイクルシステム構築のプロジェクトを進めています。現在はアメリカ大使館の協力

を得て、紙ゴミからブロックをつくるなどの活動を行っています。彼らのように何か行動を起こしたいと思っている若者は沢山いますが、資金や物資の不足で実現できないのが殆どです。まず、資金協力を依頼するために財団や国の機関などに自分たちの構想を提案する必要があるのですが、その文書を作り、各方面に郵送し、首都に出向き関係者と直接交渉をするなど、チャンスをつかむために必要な資金すらないのが現状です。

現実には、これらの作業は多額の費用がかかることはありません。そこで私たちは、彼らがまず第一歩を踏み出すために必要な費用を支援しています。そして、今では彼らの努力でアメリカ大



使館の協力を得るところまでやってきました。次年度は、私たちも直接彼らのプロジェクトに参画し、彼らとともにこの事業を更に推進していきたいと考えています。

2) タリベ支援

セネガルにはイスラム教の勉強のため、親元を離れて物乞いをしながら暮らす「タリベ」と呼ばれる子どもたちが沢山います。貧しい施設で20～30人くらいの子も達が共同生活を送っていますが、食事は近所の家の残り物をもらって食べ、汚れてボロボロにな



った衣服を身にまとい、不衛生な環境で感染症に罹ることもしばしば。そのまま亡くなってしまうこともあります。そんな子ども達を助けたいと結成された団体「Help The Children」は、カオラックの20代の若者たちのグループです。いつも食べものに飢えているタリベに食事を提供したり、イスラム教以外のことを学ぶ機会のない彼らに絵を描くことを教えたりしました。



またリンゲールという別の街にも普段からタリベを見守っている若者がおり、夜間の冷え込みが強くなる冬に、タリベたちに衣類を配給しました。タリベの問題については、宗教がからむ伝統的なものでもあり介入が難しい部分もあるのですが、地域の人々の理解と協力を得ながら支援を続けたいと思います。

3) 雨季の集中豪雨被害に対する緊急支援



2013年の雨季にはセネガルも豪雨に襲われました。豪雨は屋根を壊し、行き場を無くした水は、低い場所にたまり家を浸水しました。一部の住民は緊急避難を余儀なくされ、数週間で家に戻ることは出来たものの、今度は雨によって出来た大きな水たまりに蚊が大量発生し、マラリアが大流行したのです。そこで先にも紹介した「Help The Children」のメンバーが、学校に緊急避難中の貧しい地域に暮らす6世帯に米を配給したり、別のスラムに住む住民には50セットの蚊帳を配布しました(50セットのうち、10セットは若者グループが自らダンスなどで得た収益で購入しました)。私たちはこのような緊急事態に対しても、出来る限りの支援をしたいと考えています。

(福嶋)

2013 年度決算報告

(2013 年 6 月～2014 年 3 月まで)

(単位:円)

科目	金額
I . 収益	440, 003
1. 受取会費	33,000
本会員	30,000
賛助会員	3,000
2. 受取寄付金	193,860
受取寄付金	183,870
3. 事業収益	213,143
物品・食品販売	173,143
講師料	40,000
II . 事業費	311,819
1. 人件費	23,000
謝金	23,000
2. その他経費	278,829
広報費	4,615
消耗品費	37,837
イベント参加費	26,710
セネガル活動費	67,663
フェアトレード商品等購入費	59,062
オリジナル商品製作費	67,200
セネガル送金手数料	9,420
旅費交通費	12,990
雑費	3,322

セネガルコラム 1 ～セネガルと音楽～

ラジャキジャキン！ラジャキジャキン！ラジャキジャキン！ラジャキジャキン！！
今日も太鼓が鳴り響く。今、夜 10 時。

「サバル」というダンスを語らずして、セネガルの人々の心は語れない。

足をリズムカルに動かしたり、上へ上へと高く舞い挙げて踊ったり…音楽に合わせてとにかく全身を思いっきり動かすのが、このサバルダンスであり、サバルを踊っているときセネガル人が最も輝く時間と言っているだろう。音楽が鳴れば、いつも声の小さい女の子も、ぼけっとならぬように見えるあのボクも、こぞって体を動かすし、誰かが太鼓のフレーズを口ずさめば、みんな「グングン、ギンギチャ、ギンギチャ」と続き、また踊り出す。どこにいても、何をしても、このノリは変わらないのだ。大勢の前でも物おじせず派手に踊る。こんなに派手に踊っておいて、踊り終わったとたん恥ずかしそうに顔を隠すところが、また、愛らしい。

サバルは伝統的なセネガルのダンスだ。現代のセネガルミュージックのバックドラムはサバルに使われる「タムタム」という伝統太鼓が使われている。手と木の枝を使って音を鳴らす楽器だ。この「タムタム」の音が入るとどの曲にもセネガルらしさを出す。セネガルの曲は総称して「ンバラ」と呼ばれる。ジャマイカで言うところの「レゲエ」だ。

セネガル出身の世界的に有名なセネガルアーティストとしてユッサー・ンドゥールがいる。彼こそ「ンバラ」を世界に広げている人だ。英語やフランス語の楽曲もあるが、そのほとんどはセネガルの現地語である「ウォロフ語」で歌っている曲である。よく「ユッサー・ンドゥール知ってる？」と聞かれるのは、それだけセネガルの人々が、彼を誇りに思っているからだろう。

実は他にもゴロゴロいい曲があるセネガルミュージックシーン。伝統的な曲は心を落ち着けてくれ、どこか懐かしい気持ちにさせてくれるし、現代的な曲は元気で明るく、聞いているとなんだかパワーが湧いてくる。何曲か紹介するので、ぜひ聞いてみてほしい。

- ・ Yussou Ndour 「Lima Wessou」
- ・ Viviane Ndour 「Waaw waaw」
- ・ Waly Seck 「Louné」

これらの曲は、Youtube などで視聴することができ、セネガルの音楽を聞いたことがない人にもとても聴きやすい曲である。

まだまだ紹介したいアーティストはたくさんいるが、最後に今回はあえて、元青年海外協力隊の田中正臣さんがセネガルミュージシャンと結成した「Taxi BY Band」を紹介したい。これぞまさにセネガル×日本の形。まだ知名度は低いけれど、日本にセネガル発のダブルレゲエを伝え、セネガルにジャパニーズミュージックを伝えるそんな Big Band になってほしい。

(深谷)

セネガルコラム 2 ～セネガルのフルーツ～

～日本では高いあの果物が、セネガルはなんと食べ放題！！～

2011年1月から2年間、セネガルで協力隊生活を過ごしたけれど、食べ物には最初すごく苦労した。なにせ、セネガル料理は油が多い。かなりの量を一回の料理で使う。その油のせいで、最初の1ヶ月はセネガル料理を食べるのが嫌になっていた。でも、慣れてくると不思議なもので、だんだん美味しいと感じ始め、セネガルに行って3ヶ月も経つと毎日食べたくっていた。そして、帰国して1年経った今、セネガル料理がめっちゃくちゃ食べたい！！ (続く)

そんなセネガルでは、果物が1年中食べられるのだけど、時期によってその果物は変わるんです。中でも、スイカの時期とマンゴーの時期がある。タイトルに書いた日本では高い果物、それは「マンゴー」！！日本では宮崎産マンゴーが1つ〇千円、はたまた〇万円とかで売られているけれど、セネガルではなんと破格の1キロ50円～60円！！1キロで、握りこぶし大のマンゴーなら3つ位は買えちゃうのだ！！これがまた、うまい！！！！日本ではなかなか食べる機会もなく、マンゴー味のアイスくらいしか食べたことがなかったけど、マンゴーはものすごくうまい！！セネガルにいる2年間で多分200個くらいは食べたんじゃないかな。1つ注意したいことは、マンゴーアレルギー。マンゴーは、アレルギーが出る人がいて、顔が腫れたりする。だけど、自分がマンゴーアレルギーを持っていないか、食べながら確認するしかない・・・ちなみに、一緒にセネガルに行った同期隊員の1人が、マンゴーアレルギーになったけど、マンゴーの美味しさを知っているから、非常に悔しいと言っていた。

さー——、セネガルはこれからマンゴーの季節です！！皆でマンゴーを食べまくるツアーでも組みますか？！参加者大募集！！！！

(内山)

セネガルレシピ第1弾！！ 「ヤッサ・ギナール(ヤッサ・ブレ)」

セネガルのお昼ごはんとして、チェブ・ジェンの次くらいに食べられている玉ねぎソース、ヤッサ。それに鶏肉を入れた、セネガルではかなり豪華なヤッサ・ギナール(ブレ)*を今回はご紹介いたします。

*ギナール(ginaar)はウオロフ語で、ブレ(Poulet)はフランス語で鶏のことをさします。

【材料】(4人分)

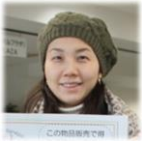
- | | | |
|----------|--------|--|
| ・ 玉ねぎ | 大 5 個 | 1. レモン汁、マスタード、すりおろしたにんにく、分量の半分ほどの崩した固形ブイオン、塩・コショウを大きなボウルに入れ混ぜます。 |
| ・ 鶏もも肉 | 2 枚ほど | 2. そのボウルに適当な大きさに切ったもも肉を入れよく混ぜ、1 時間ほどマリネします。 |
| ・ レモン汁 | 1 カップ | 3. フライパンに大さじ 2 杯分の油を入れ、みじん切り、または薄切りにした玉ねぎの上に少しのブイオンを振り、きつね色になるまで炒めます。 |
| ・ マスタード | 小さ 5 杯 | 4. 別の大きな鍋に残りの油を加え、2 のもも肉を、表面がパリパリになるように焼き目をつけます。(ここではまだ肉に火が通らなくても大丈夫。) |
| ・ にんにく | 5 片 | 5. 3 の玉ねぎを 4 の大鍋に入れ、残りの崩した固形ブイオンと水を入れ、30 分～1 時間ほどソースがとろとろになるまで煮込みます。 |
| ・ 固形ブイオン | 7g | 6. 5 のソースを熱々の白ご飯にかければ、セネガル名物ヤッサ・ギナール(ブレ)の出来上がり！ |
| ・ 塩・コショウ | 適量 | |
| ・ 油 大さじ | 4 杯 | |
| ・ 水 | 3 カップ | |
| ・ 白ご飯 | 適量 | |



(藤岡)

Bokk Jambaar スタッフ紹介

①名前(セネガル名)②最近気がついたこと③セネガルの好きなところ④この団体への思い⑤今後の野望・目標



- ①福嶋 香織(Nogay Nbay)
②世の中にはいい人がたくさんいるなあ。
③灼熱の太陽と、陽気なセネガル人。

④青年海外協力隊としてセネガルで過ごした2年間は単なる思いではなく、セネガルをスタート地点とした、新たな自分の人生の始まりだったと感じています。人生の半ばに差し掛かり踏み入れた未知の社会は、予想通りの厳しさもありましたが、私の人生の後半を豊かに生きるためのヒントをくれました。そのヒントがたくさん詰まったものがこの Bokk Jambaar です。これからもこの Bokk Jambaar とともに歩み、成長を続けたいと思います。

⑤「セネガル」といえば「Bokk Jambaar」と言われるぐらいの団体にしたい！



- ①藤岡 美保子(Aminata Dia)
②セネガルから連れてきた猫の腹回りがヤバイ
③人が大好きなセネガル人の素敵な笑顔

④セネガルの2年間で巡り会えた素晴らしい出会いや絆を風化させたくないという思いで団体設立をしました。貧しくてもいつも笑顔で他人を思いやるセネガル、豊かけど他人との関わりをさける日本、時間にルーズで仕事が雑なセネガル、何事にもキメが細かく時間通りに物事が進む日本、それぞれの良さを取り入れてもっとお互いの社会を良いものにしていきたいと思っています。これからもジャンパリますので、よろしくお祈りします！

⑤ボック・ジャン・パールセネガル支局の設立と、さらなる支援の展開！



- ①内山 光晴(Atouman Ndiaye)
②キャベツがものすごく好き！！
③人が優しい！飯が上手い！！

④協力隊で2年間一緒に過ごした同期と、こうしてまた日本でセネガルを想い活動できていることが嬉しい。西アフリカに位置するセネガルは距離的には非常に遠い存在だが、私たちが日本で活動し知ってもらう事で、少しでもセネガルを身近な存在と感じてもらえればと思う。沢山の人がセネガルが好きだと思ってもらえるよう頑張っていきたい！！

⑤日本でセネガルと言ったら、ボックジャンパール！と言われる団体になる。



- ①深谷結(Binta Badji)
②目が悪くなった！パソコンの使いすぎ(*_*)
③自分らしくいられる
④自分とセネガルを繋げて、セネガルにいた自分をわすれないで

いさしてくれるこの団体。今は微々たる力だけど、私たちに関わる人がセネガルを感じて、笑顔になってくれたら最高だね。セネガルにある《ンダンク、ンダンク》という大好きな言葉。ゆっくりでもいいから確実に育てて行こう。

⑤日本の人たちをセネガルの人たちのパワーで元気にする！



- ①土久岡 真美(Mami Mbengue)
②暖かい季節はソワソワする
③美味しいご飯と憎めない人
④この団体を通して、日本とセネガル社会が少しでも明るくな

ればと思っています。この原動力となっているのは、「今」を生きるセネガル人と暮らした所にあります。日本とセネガルでは、物質的には差が出るかもしれませんが、人間的には差はないと思います。より良い社会を目指して少しでも情報発信などしていきたいと思っています。

⑤Bokk Jambaar を広める。夢を夢で終わらせない！



Bokk Jambaar への参加

Bokk Jambaar では、活動を応援していただける方を募集しています。

1. Bokk Jambaar の会員として参加する

賛助会員 年間費 3,000 円

ニュースレターや活動報告をお届けいたします。

本会員 年間費 5,000 円

ニュースレターをお送りするとともに、総会や活動にもご参加いただけます。

2. 寄付をして応援する

下記口座までお振り込みください。連絡先を教えてくださいましたら、活動報告をさせていただきます。

3. ボランティアとして応援する

Bokk Jambaar が参加・主催するイベントなどにてお手伝いをしていただけ方を募集しております。下記連絡先までご連絡ください。

振込口座

三井住友銀行 千林支店

普通 1745982

ボックジャンバール 代表 福嶋香織(ふくしま かおり)

連絡先

Bokk Jambaar 事務局

〒535-0021 大阪府大阪市旭区清水2丁目 4-11-311

電話: 080-8522-8412(代表 福嶋)

Email: contact@bokk-jambaar.org

HP: <http://www.bokk-jambaar.org>



セネガルの民族語のひとつであるウォロフ語で「Bokk」は仲間、「Jambaar」は頑張っている人のことを指して言います。

アフリカと日本の距離を超え、同じ意志を持ち目標に向かって頑張る仲間たちの繋がりが広がっていくこと、そして Bokk Jambaar はその皆の頑張りを一つの大きな力にしていく場でありたいと考えています。